

「全国痴呆症高齢者宅老所・グループホーム 研究交流フォーラム'99」開催要綱

〔今回の「フォーラム」は、次の4つを柱に開催します〕

- ①「宅老所・グループホーム」とは何かを明らかにします。
- ② 介護保険下における「宅老所・グループホーム」の運営と、市町村・都道府県・国の役割を考えます。
- ③「宅老所・グループホーム」をさまざまな角度から掘り下げます。
- ④「宅老所・グループホーム」の緩やかな全国ネットを発足します。

1. 目的

痴呆症高齢者が、住み慣れた地域で、可能な限り自立した生活を続けていくために、一人一人のニーズに合ったサービスを提供する在宅福祉サービスの拠点「宅老所」「グループホーム」が全国的に広がり、地域に根づきつつある。

こうした状況の中で、全国の関係者800人が集い開催した「フォーラム'98」では、全国で奮闘する「宅老所・グループホーム」運営者の実践報告とともに、その意義を明らかにし、交流を深めた。

第2回目となる「フォーラム'99」では、「宅老所・グループホームとは何か」を掘り下げ、明らかにするとともに、介護保険下における運営と市町村・都道府県・国の役割を考えるほか、ホームを推進するための都道府県や全国での緩やかなネットワーク化を進めることを目的に開催する。

◆この「フォーラム」でいう「痴呆症高齢者宅老所・グループホーム」とは、日帰り・滞在・居住を含む小規模ホーム（5～8人程度）を意味する。運営主体の法人の有無や営利非営利は問わない。

2. 日時

1999年 2月27日（土） 13:00～
28日（日） ～15:00

3. 会場

東北福祉大学

宮城県仙台市青葉区国見1-8-1 ・ 022(233)3111

※駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

4. 主催

「全国痴呆症高齢者宅老所・グループホーム研究交流フォーラム'99」実行委員会
宅老所・グループホーム全国ネットワーク（仮称）（1999.1.23 発足予定）

みやぎ宅老連絡会

福島県ケアホーム連絡会

栃木県高齢者デイホーム連絡会

さいたま痴呆性高齢者小規模デイサービス連絡会

富山県民間デイサービス連絡協議会

愛知民間デイ連絡会

岡山県民間デイ連絡会

宮城県

仙台市

社会福祉法人宮城県社会福祉協議会

社会福祉法人仙台市社会福祉協議会

社会福祉法人宮城県福祉事業団

東北福祉大学

※ この「フォーラム」の運営費の一部は、日本財団の助成金を受けています。

5. 協賛（五十音順）（現在なお募集中）

きのこエスポータル病院・筒井書房

医歯薬出版（株）・（株）飛鳥建築設計事務所・（株）医学書院・パラマウントベッド（株）・

豊信産業（株）

6. 内容(日程)

(第1日目)

	時 間	内 容																														
2月27日 土	11:00～12:30	受 付																														
	12:30～13:00	開 会																														
	13:00～14:20	<p>宅老所・グループホーム実践者からのメッセージ 「宅老所・グループホームの熱い思いを伝えたい」</p> <p>◆パネラー</p> <table> <tr> <td>サティール八戸・絆の家サ・セカト (青森県)</td><td>代 表</td><td>沢 向 裕 子</td></tr> <tr> <td>みやぎ宅老連絡会</td><td>副会長</td><td>内 海 静 子</td></tr> <tr> <td>栃木県高齢者ケアホーム 連絡会</td><td>会 長</td><td>高 木 敏 江</td></tr> <tr> <td>愛知民間デイ連絡会</td><td>代 表</td><td>朝 倉 義 子</td></tr> <tr> <td>宅老所よりあい (福岡県)</td><td>代 表</td><td>下 村 恵美子</td></tr> </table> <p>◆サポーター</p> <table> <tr> <td>きのこエスポアル病院 (岡山県)</td><td>病院長</td><td>佐々木 健</td></tr> </table> <p>◆コーディネーター</p> <table> <tr> <td>ことぶき園 (島根県)</td><td>理事長兼園長</td><td>梶 谷 和 夫</td></tr> </table>	サティール八戸・絆の家サ・セカト (青森県)	代 表	沢 向 裕 子	みやぎ宅老連絡会	副会長	内 海 静 子	栃木県高齢者ケアホーム 連絡会	会 長	高 木 敏 江	愛知民間デイ連絡会	代 表	朝 倉 義 子	宅老所よりあい (福岡県)	代 表	下 村 恵美子	きのこエスポアル病院 (岡山県)	病院長	佐々木 健	ことぶき園 (島根県)	理事長兼園長	梶 谷 和 夫									
サティール八戸・絆の家サ・セカト (青森県)	代 表	沢 向 裕 子																														
みやぎ宅老連絡会	副会長	内 海 静 子																														
栃木県高齢者ケアホーム 連絡会	会 長	高 木 敏 江																														
愛知民間デイ連絡会	代 表	朝 倉 義 子																														
宅老所よりあい (福岡県)	代 表	下 村 恵美子																														
きのこエスポアル病院 (岡山県)	病院長	佐々木 健																														
ことぶき園 (島根県)	理事長兼園長	梶 谷 和 夫																														
2月28日 日	14:40～17:30	<p>基調ディスカッション 「宅老所・グループホームとは何かを整理する」(宮城県「小規模多機能施設等福祉サービス調査研究委員会」・みやぎ宅老連絡会「痴呆症高齢者小規模ケア研究委員会」報告)</p> <p>◆パネラー</p> <table> <tr> <td>札幌大学経済学部</td><td>助教授</td><td>高 橋 誠 一</td></tr> <tr> <td>国立南花巻病院</td><td>第一神経科医長</td><td>山 崎 英 樹</td></tr> <tr> <td>宮城大学看護学部</td><td>教 授</td><td>太 田 喜久子</td></tr> <tr> <td>名城大学都市情報学部</td><td>教 授</td><td>平 野 隆 之</td></tr> <tr> <td>宮城県長寿社会政策課</td><td>課 長</td><td>千 葉 宇 京</td></tr> <tr> <td>仙台市高齢企画課</td><td>課 長</td><td>西 城 正 美</td></tr> <tr> <td>厚生省老人福祉計画課</td><td>老人福祉専門官</td><td>内 藤 佳津雄</td></tr> <tr> <td>厚生省地域福祉課</td><td>地域福祉専門官</td><td>小 林 雅 彦</td></tr> </table> <p>◇調査報告者</p> <table> <tr> <td>横浜国立大学大学院工学研究科建築計画学専攻博士課程</td><td></td><td>大 橋 美 幸</td></tr> </table> <p>◆コーディネーター</p> <table> <tr> <td>東北福祉大学社会福祉学部</td><td>客員教授</td><td>渡 部 剛 士</td></tr> </table>	札幌大学経済学部	助教授	高 橋 誠 一	国立南花巻病院	第一神経科医長	山 崎 英 樹	宮城大学看護学部	教 授	太 田 喜久子	名城大学都市情報学部	教 授	平 野 隆 之	宮城県長寿社会政策課	課 長	千 葉 宇 京	仙台市高齢企画課	課 長	西 城 正 美	厚生省老人福祉計画課	老人福祉専門官	内 藤 佳津雄	厚生省地域福祉課	地域福祉専門官	小 林 雅 彦	横浜国立大学大学院工学研究科建築計画学専攻博士課程		大 橋 美 幸	東北福祉大学社会福祉学部	客員教授	渡 部 剛 士
札幌大学経済学部	助教授	高 橋 誠 一																														
国立南花巻病院	第一神経科医長	山 崎 英 樹																														
宮城大学看護学部	教 授	太 田 喜久子																														
名城大学都市情報学部	教 授	平 野 隆 之																														
宮城県長寿社会政策課	課 長	千 葉 宇 京																														
仙台市高齢企画課	課 長	西 城 正 美																														
厚生省老人福祉計画課	老人福祉専門官	内 藤 佳津雄																														
厚生省地域福祉課	地域福祉専門官	小 林 雅 彦																														
横浜国立大学大学院工学研究科建築計画学専攻博士課程		大 橋 美 幸																														
東北福祉大学社会福祉学部	客員教授	渡 部 剛 士																														

〔交流会ー全国の宅老所・グループホーム関係者と交流しようー(会場は「ホテル仙台プラザ」)〕

2月27日	19:00～21:30	<p>ミニミニトーク「宅老所・グループホームへの讃歌」</p> <p>◆話し手：東北福祉大学 客員教授 さとう 宗 幸 (歌手)</p> <p>交流会 (立食と交流)</p>
-------	-------------	---

(第2日目)

2月28日 日	9:00～11:30	<p>第1分科会「痴呆症高齢者をかかえる家族から見た宅老所・グループホーム」</p> <p>報告者 呆け老人をかかえる家族の会宮城県支部世話人 三 浦 知 子</p> <p>呆け老人をかかえる家族の会千葉県支部 (稲毛ホワイエ)</p> <p>代表 永 島 光 枝</p> <p>代表 岸 智津子</p> <p>助言者 名城大学都市情報学部 教 授 平 野 隆 之</p> <p>東北福祉大学社会福祉学部 教 授 志 田 民 吉</p> <p>司会者 デイセンターみさと (群馬県) 代 表 田部井 康 夫</p>
---------	------------	---

2月28日

第2分科会「宅老所・グループホームの生活とケア」

報告者 宮城県和風園 主幹兼介護第一係長 加藤 恒 久
ことぶき園（島根県） 理事長兼園長 槻谷 和 夫
第2宅老所よりあい（福岡県） 所長 村瀬 孝 生
助言者 宮城大学看護学部 教授 太田 喜久子
司会者 あべさん家（山形県） 代表 阿部 昭 典

第3分科会「宅老所・グループホームの生活とケアの空間」

報告者 もえれのお家（北海道） 施設長 長井 巻 子
東北工業大学大学院工学研究科博士課程前期建築学専攻
テレビ東京 記者 井上 博文
特老・さくら苑・樹林の風（神奈川県） 清水 京子

助言者 （株）地域生活情報センター 理事長兼苑長 桜井 里二
司会者 仙台白百合女子大学人間学部 代表取締役 榎木 保匡
専任講師 白石 雅一

第4分科会「民間宅老所・グループホームの機能」

A部会「日帰り型」

報告者 ふれあいの家・さざんか（宮城県） 代表 庄子 平 弥
生活クラブ生活協同組合神奈川 副理事長 有田 晶子
B・Gみなみ（大阪府） 会長 栗田 文代
大牟田市職員労働組合（福岡県） 自治研部長 田中 隆基
助言者 日本福祉大学社会福祉学部 教授 沢田 清方
司会者 さいたま痴呆性高齢者 小規模デイサービス連絡会 代表 西村 美智代

B部会「日帰り型+お泊まりなどの多機能・多世代」

報告者 ひまわり（岩手県） 施設長 横山 久子
元気な亀さん（埼玉県） 園長 瀬本 信吉
このゆびと一まれ（富山県） 代表 惣万 佳代子
託老所あんき（愛媛県） 代表 中矢 曉美
助言者 広島国際大学医療福祉学部 助教授 賀戸 一郎
司会者 岡山県民間デイ連絡会 事務局長 津田 由起子

第5分科会「公的福祉施設の小規模化への試み」

A部会「特養の宅老所・グループホームの取り組み」

報告者 松陽苑・こもれびの家（宮城県） 施設長 吉田 孝志
ゆいの里・ゆい（滋賀県） 在宅サービス部長 今井 悟
泰生園・リベラホーム（大分県） 施設長 雨宮 洋子
助言者 立教大学コミュニティー福祉学部 教授 橋本 正明
（高齢者総合福祉施設・至誠ホーム長/東京都）
司会者 こふし園（新潟県） 事務長兼業務部次長 小山 剛

B部会「特養の小規模ケア（ユニット）の取り組み」

報告者 特養・幸豊ハイツ（北海道） 施設長 大久保 幸 積
せんだんの杜（宮城県） 高齢福祉部長 岩佐 博 恵
特養・シオンの園（福島県） 介護長 和田 由紀子
助言者 ジャーナリスト 安田 陸 男
司会者 まごの手（富山県） 代表 澤井 茂 吉

C部会「特養の小地域サテライト型の宅老所・グループホームの取り組み」

報告者 特養・アザレアンさなだ（長野県） 施設長 宮島 渡
特養・園田苑（兵庫県） 苑長 中村 大蔵
特養・ユーシャイン（広島県） 所長 熊原 保
助言者 わかるふくしネットワーク 主宰 木原 孝 久
司会者 福島県ケアホーム連絡会 事務局長 武田 和 典

2月28日	第6分科会「医療施設の小規模化への試み」	報告者	今村病院（秋田県）	理事長	稲庭千弥子
			グループホーム・オクセン（神奈川県）	理事長	福島弘毅
			きのこエスポール病院（岡山県）	病院長	佐々木健
	助言者	大阪大学人間科学部	教授	大熊一夫	
	司会者	国立南花巻病院	第一神経科医長	山崎英樹	
	第7分科会「企業の宅老所・グループホームの取り組み」	報告者	エスティームライフ学園前（奈良県）		
		(株)アクティブライフ	代表取締役専務	中熊靖	
		ベネッセホーム「くらら」（岡山県）	チーフ	零石健	
		家族の家新里（群馬県）			
		(株)ファミリーシステム	代表取締役兼施設長	渡辺高行	
	助言者	シニアワークプランニングセンター	所長	祐川尚素	
司会者	札幌大学経済学部	助教授	高橋誠一		
第8分科会「行政や社会福祉協議会の宅老所・グループホームの支援と推進」	報告者	北海道高齢者保健福祉課	課長	樽見英樹	
	今市市厚生福祉課高齢福祉係（栃木県）	係長	吉原久雄		
	笠岡市自治振興課（岡山県）	課長	柚木義和		
	豊北町社会福祉協議会（山口県）	事務局長	山村敏史		
助言者	全国社会福祉協議会	地域福祉部長	和田敏明		
	福祉自治体ユニット	事務局長	菅原弘子		
司会者	宮城県社会福祉協議会	地域福祉部長	松本誠康		
第9分科会「宅老所・グループホームと介護保険法・NPO法」	報告者	宮城県環境生活部	次長	樋口美智子	
				(元東洋大学助教授)	
	厚生省老人福祉計画課	課長	山崎史郎		
				(介護保険制度実施推進本部事務局・副事務局長)	
司会者	仙台大学体育学部	助教授	富田恵子		
11:30~12:30	昼食				
12:30~14:45	今後を占うディスカッション「どうなる・どうする・どうしたい？介護保険下における宅老所・グループホーム」				
	◆パネラー				
	宮城県金成町・まりやの家	利用者家族	小岩豊子		
	宮城県金成町・まりやの家	代表	桑茂三郎		
	宮城県金成町	町長	佐藤小弥太		
	宮城県	知事	浅野史郎		
	厚生省	大臣官房審議官	辻哲夫		
	◆コメンテーター				
	京都大学大学院工学研究科	教授	外山義		
	◆コーディネーター				
	日本放送協会（NHK）	解説主幹	村田幸子		
14:45~15:15	アンカートーク「宅老所・グループホームが、痴呆症高齢者福祉を変える」				
	◆トーカー				
	厚生省老人福祉計画課	課長	山崎史郎		
	みやぎ夢大使		大熊由紀子		
15:15~15:30	閉会				

7. 参加定員 800人

8. (1) 参加費/8,000円 (2) 参考資料代/1,000円 (3) 自主交流会費/6,000円

「全国痴呆症高齢者宅老所・グループホーム研究交流フォーラム'99」

参加申し込み・宿泊・観光のご案内

「全国痴呆症高齢者宅老所・グループホーム研究交流フォーラム'99」の参加・宿泊・観光のお申し込みを下記の通り承りますので、お早めにお申し込み下さいますようお願い申し上げます。

1. 参加登録について

- 参加費としてお1人様8,000円、参考資料代1,000円を申し受けます。
- 参加ご希望の方は、別紙「参加登録・宿泊・観光申込書」に必要事項をご記入の上、日本旅行仙台支店宛てに1月14日までにFAXか郵送でお送り下さい。尚、締め切り前でも定員になり次第締め切りいたしますが満たない場合はそれ以降も受付いたします。
- 申込書は宿泊・観光・交通手配の申し込みも兼ねておりますので、以下にご案内いたします宿泊・観光などをご希望される方は参加登録申込時に一緒にお申し込み下さい。

2. 分科会について

- 開催要綱の番号でお申し込み下さい。第4分科会、第5分科会についてはA、B、Cと部会が分かれておりますので必ず番号と記号(例:4-A)をお書き下さい。
- 参加人数に制限がございますので、第2希望、第3希望もお書き下さい。

3. 自主交流会について

- 参加費として6,000円を申し受けます。
- 会場はホテル仙台プラザ「松島」です。講師の方々も多数参加します。

4. 宿泊について

- 宿泊料金は、いずれも1泊朝食付、税金・サービス料込のお1人様あたりの料金です。
- 申込書に宿泊ホテル名、部屋タイプをご記入のうえお申し込み下さい。ツインご希望の方は申込書に必ず同室の方のお名前をお書き下さい。
- 特定のホテルにお申し込みが集中した場合は、ご希望にそえない場合も想定されますので、第2希望ホテル名も必ずご記入下さい。

5. 交通について

- ご希望がある場合は申込書下欄に希望の列車又は航空便をご記入下さい。
 - *航空機利用の場合は利用者名も明示して下さい。
 - *切符類の発送は2月3日頃になります。

6. 観光について

大会終了後、冬の東北路をご満喫いただける観光コースをご用意いたしましたので、ご希望の方は申込書にご記入のうえお申し込み下さい。(別紙資料参照)

Aコース 旅行代金 お一人様 23,000円

Bコース 旅行代金 お一人様 22,000円

*各コース共25名様に満たない場合催行を中止する場合もございます。

*原則として相部屋になります。グループ、ご友人などで一部屋をご希望される場合は、備考欄にご記入下さい。(追加料金が生ずる場合がございますのでご了承下さい。)

7. 確認書の送付と代金清算について

- 2月3日頃までに参加券・宿泊確認書・請求書をお送りしますので、内容をご確認のうえ2月13日までに次ページ指定口座へお振り込み下さい。(現金書留でもお受けいたします。)振込手数料はお客様負担となりますのでご了承ください。

振込先	銀行支店名	七十七銀行 新伝馬町支店 (店番号203)
	口座番号	普通 5325226
	口座名	(株)日本旅行 仙台支店

8. 変更・取消しについて

○変更・取消しにつきましては聞き間違いや混乱を避けるため電話での受け付けはいたしません。お手数ですがFAXにて速やかにご連絡ください。(様式は問いません。)

○宿泊・航空の変更・取消しにつきましてはご利用の13日前以降、下記の取消料を申し受けます。交通機関の取消につきましては、当該利用機関の取消料規定となります。

ご連絡日	宿泊・交流会費用
13日前以前 4日前まで	30%
3日前以降 前日まで	50%
当日	100%
無連絡不参加	100%

*変更・取消しについての清算は大会終了後に行います。

9. お申し込み・お問い合わせ先

(株)日本旅行仙台支店	
担当：加藤・木村・武田・齋藤	
〒980-0021	
宮城県仙台市青葉区中央2-1-7 (三和ビル内)	
TEL 022-261-4511	FAX 022-222-7570
営業時間	月曜日から土曜日 9:30~18:00
	日曜日・祝日 休業

宿泊のご案内

平成11年2月27日(土) 宿泊分

ホテル名	お申込記号	部屋タイプ	1泊料金	地図番号
ホテルメトロポリタン仙台	AS	シングル	13,000円	A
	AT	ツイン	12,000円	
仙台国際ホテル	BS	シングル	13,000円	B
	BT	ツイン	12,000円	
三井アーバンホテル	CS	シングル	11,000円	C
	CT	ツイン	10,000円	
ホテルセンチュリー仙台	DS	シングル	11,000円	D
	DT	ツイン	10,000円	
チサンホテル仙台	ES	シングル	9,000円	E
	ET	ツイン	8,000円	
仙台富士ホテル	FS	シングル	9,000円	F
	FT	ツイン	8,000円	
ホテルJALシティ仙台	G	シングル	11,000円	G
インターシティホテル	H	シングル	10,000円	H
ドーミーイン仙台	I	シングル	9,000円	I

*宿泊料金は1泊朝食・税金・サービス料を含んだ料金です。

*ツインの料金は2名1室で利用した場合のお1人当たりの料金です。



◎観光のご案内

Aコース(鳴子1泊2日コース) ◎募集人員 40名 大人お一人様 23,000円

月 日	行 程
2/28 (日)	東北福祉大学(フォーラム会場)——鳴子(宿泊) 16:00頃 17:30頃
3/1 (月)	ホテル——鳴子観光(にげし館)——平泉観光(中尊寺金色堂)——仙台駅——仙台空港 9:00頃 (昼食) 15:00頃

*1泊3食付きです。

*3~5名1室利用の場合の料金です。2名様1室利用の場合は5,000円アップです。

Bコース(山形1泊2日コース) ◎募集人員 40名 大人お一人様 22,000円

月 日	行 程
2/28 (日)	東北福祉大学(フォーラム会場)——秋保(宿泊) 16:00頃 17:30頃
3/1 (月)	ホテル——山寺観光(立石寺)——寒河江(そば打ち)——仙台駅——仙台空港 9:00頃 (昼食) 15:00頃

*1泊3食付きです。

*3~5名1室利用の場合の料金です。2名様1室利用の場合は5,000円アップです。

「全国痴呆症高齢者宅老所・グループホーム研究交流フォーラム'99」

参加登録・宿泊・観光申込書

申込日： 月 日

*必要に応じてコピーして下さい。

受付No：

申込者名(代表者)			都道府県名	
送付先住所	〒		電話	
勤務先住所	〒			
勤務先名				
電話番号			FAX番号	

申込先：株式会社 日本旅行 仙台支店

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-1-7

電話 022-261-4511

FAX 022-222-7570

担当：加藤・木村・武田・齋藤

氏名	部署名・職名	性別	年齢	参加登録	参考資料代	分科会			交流会	観光	2/27(土) 宿泊(1泊朝食税金・サービス料込) ※お申込記号でご記入下さい。	
						第一希望	第二希望	第三希望			第1希望	第2希望
フリガナ ダテ マサムネ (例) 伊達 正宗	福祉課庶務係長	男	40	○	○	4-A	6	1	○	A	AS	BS
フリガナ 1												
フリガナ 2												
フリガナ 3												
フリガナ 4												
フリガナ 5												
フリガナ 6												

◆ 交通機関・延泊等のご希望がございましたらご記入下さい。*交通希望(例) 2/27 やまびこ137号(東京発) 普通指定席3名分 *前泊(例) 2/26 仙台プラザ シングル1名